

国選本部ニュース

2025.1

No. 38

編集責任:国選弁護本部

取調べへの弁護人の立会いと逮捕段階の国選弁護制度の実現に向けて 第16回国選弁護シンポジウム開催

第16回国選弁護シンポジウム実行委員会事務局長 高見 健次郎(金沢)

はじめに

令和6年11月1日、金沢市の金沢東急ホテルで、第16回国選弁護シンポジウムが開催されました。来場者約250名、オンライン視聴者約330名が参加しました。

テーマは、弁護人の取調べへの立会い(第1部)と逮捕段階の国選弁護制度(第2部)。総合司会は、早川潤会員と藤田真衣会員(ともに金沢)が務めました。

なお、今回のシンポジウムは、金沢弁護士会では昨年1月1日の令和6年能登半島地震への対応に多くの労力が割かれる中、実行委員会と日弁連事務局が一体感を保ちながら、準備が進められました。

第1部

第1部では、まず、実際にあった警察や検察官による取調べの状況を取めた動画の上映と、大川原化工機事件(えん罪事件)で取調べを受けた島田順司さんに対する工藤杏平会員(第一東京)によるインタビューを行いました。捜査機関による違法・不当な取調べの実態は、参加者に大きな衝撃を与えるとともに、取調べへの弁護人の立会いの必要性を心底感じ取ってもらうことができました。

次に、古田宣行会員(愛知県)から取調べ立会いの目的、亀倉大悟会員(広島)、櫻井義也会員(愛知県)、林順敬会員(札幌)から取調べへの立会い(準立会いを含む。)の実践報告があり、立会いの方法やその効果が示されました。

引き続き、中村安里会員(金沢)をコーディネーター、島田さん、無罪事件の過失運転致傷事件で実際に取調べを受けた元依頼者の方、同事件で準立会いをした林会員、捜査機関の取調べの問題に取り組む市川耕士会員(高知)をパネリストとして、パネルディスカッションが行われました。テーマは、取調べの現状、違法・不当な取調べがなされる原因、取調べの立会いが実務に与えるインパクトと期待、立会い実現への課題など。その中で、島田さんは、

取調べに弁護人の立会いを求めることは人間として当然の権利だと話し、元依頼者の方は、準立会いではあったが弁護人が取調室のそばにいてくれてとても心強かったと語りました。

第2部

第2部では、まず、国選付添人制度に関する取組報告を、土橋央征会員(大阪)から行い、その後、逮捕段階の国選弁護制度をテーマとして進行しました。

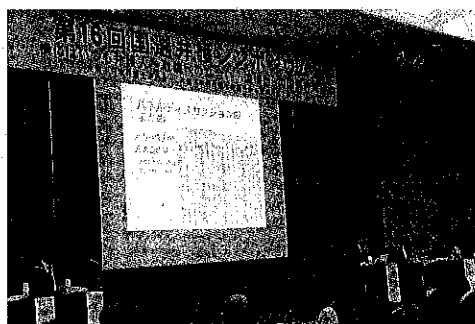
逮捕段階の国選弁護制度が実現すれば、捜査の早い段階から武器対等な手続に一步近づくことができることを示すプロモーションビデオを上映しました。

次に、国選弁護本部本部長代行の岩井羊一会員(愛知県)をコーディネーター、元裁判官で国選弁護人選任の実務に携わった経験のある西愛礼会員(大阪)、若手で刑事弁護に熱心に取り組む開原早紀会員(第二東京)、国選弁護本部で逮捕段階の国選弁護制度の実現に取り組む長沼正敏会員(埼玉)、本記事の筆者をパネリストとして、パネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、逮捕段階の国選弁護制度がないため弁護人不在のままなされた弁解録取手続や、取調べで誤った供述調書が作成された事例と逮捕段階で弁護人が付されたため適正な刑事手続が確保された事例、裁判官の実務では被疑者国選弁護人選任手続における要件審査で特に被疑者との面談を必要としないこと、被疑者の資力を一切問うことなく迅速に弁護人が選任されているドイツでの逮捕段階の国選弁護制度などが紹介されました。

その上で、逮捕段階の国選弁護人選任手続においては資力申告書の提出や被疑者に資力がある場合の私選申出前置は不要とされるべきであり、逮捕段階の国選弁護制度が早急に実現されるべきことが確認されました。

おわりに

国選弁護シンポジウムは成功裏に終えることがで



第2部のパネルディスカッション

きました。

今後、取調べへの弁護人の立会いや逮捕段階の国選弁護制度の実現に向けて、邁進しなければなりません。

しかし、取調べへの弁護人の立会い、逮捕段階の国選弁護制度に共通して、国選弁護制度では、国選弁護報酬が低廉であることが常に問題となります。今回のシンポジウムでも、制度については熱く語られ、参加者の共感を得ることができましたが、下井良基会員(三重)から報告があった国選弁護報酬問題については大きな課題を残したままとなりました。それぞれの制度と両輪の課題として、今後も取り組んでいく必要があります。

ぜひ御協力をお願いします。

★シンポジウムの基調報告書等は日弁連ウェブサイトに掲載しています。

https://www.nichibenren.or.jp/document/symposium/kokusen_sym_po.html

★シンポジウム当日の動画は、日弁連ウェブサイトの「イベント動画を見る」に掲載予定です。

<https://video.ibm.com/channel/nichibenren>

